

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」豊田美山校			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年12月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育で利用者様に合わせた支援を行っていること。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達段階や課題を踏まえた支援プログラムを準備し、提供しています。 担当指導員が他の職員に支援内容について意見を求めたり、相談したりして、よりよい支援を提供できるようにしている。 利用者様が楽しく興味を持って取り組めるような教材を探したり、手作りしたりしております。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が自己研鑽をすることで支援レベルの向上を図る。 支援プログラムの多様化のために、情報収集を行う。
2	丁寧なフィードバック、保護者対応ができること。	<ul style="list-style-type: none"> 十分に時間をとり、支援内容のフィードバックの他、利用者様についての情報共有、保護者様の困りごとの聞き取りを行っている。 支援の見学をしていただき、利用者様の様子を見てもらったり、特性を踏まえた関わり方を見てもらったりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> より一層、相談援助に力を入れ、「支援級か普通級か」等で迷われている保護者様に有用な情報提供を行います。 保護者会の開催。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援スキルの向上	<ul style="list-style-type: none"> 指導員の経験不足。（5年以上経験している職員の不在） ⇒経験に裏打ちされた支援だったり、支援の「引き出し」が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導員同士で支援を見学し、新たな気づきを得て、自らの支援のブラッシュアップを図る。 応用行動分析、感覚統合、TEACCHプログラム等の技法や理論を学び、支援内容に反映させる。 ネットを駆使して、様々な教材を知り、使う。
2	外部機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 送迎をやっていないこともあり、外部機関（特に小学校）との接点がほとんどない。 就学への移行支援についての知見が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所にきらりの支援を知ってもらうため、支援見学に来てもらう等の機会を作る。 就学への移行についてのノウハウを構築する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」豊田美山校

公表日 2026年 2月 1日

利用児童数

22名

回収数

22名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	3	5	2	人員に余裕があると助かります。 先生の数が足りないと感じている。 人手不足を感じるが、可能な範囲でやっ てくれている。 女性の先生がいるとうれしい。	会社として、必要な人員配置が出来るよ う採用活動を行うと同時に、職員が定着 し継続的な支援を提供出来るような組織 づくりを進めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	1	0		事業所内は玄関からフラットなので、バリア フリーにはなっております。各教室におい ては使っていないものは撤去するなどし、様々 なリスクを最小限にした空間づくりを心がけ ます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2	0	0	いつも清潔で過ごしやすい環境である。	毎朝、職員が事業所内外の掃除を行っ ております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	21	1	0	0	今までたくさんの困りごとに対して活動 を考えてくださり、いろんなことが克服 できました。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	19	2	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	21	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	21	0	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	7	6	2	7		保護者様からの要望があれば検討いたし ます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	16	1	0	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	22	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	1	0	いろんな悩みを聞いてくださり、アドバ イスもしてくれます。	より相談しやすくするため、常に相談の 窓口が開かれていることを周知していま います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	7	0	7		今年度は7月と12月（2月も開催予定）に 保護者会を開催しました。今後は保護者 会に加え、就労系の事業所を見学する機 会も作っていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	3	0	0	子どもの苦手なことや保護者の要望を先生方で共有してくださっている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	4	1	3		弊事業所の情報は弊社のHPで更新しているため、そこへよりアクセスしていただけるよう工夫をします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	1	1	集団の時に他の保護者の方に、フィードバックが聞こえている。	支援を行う部屋によっては、待合スペースとの境界が無く、フィードバックの内容が漏れるリスクがある。 ⇒フィードバックの方法やタイミング、話す声の大きさ、個人情報への意識等について見直します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	2	0		支援内容を工夫したり、イベントを開催する等し、通っている児童が楽しく過ごせる事業所を目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	2	1	0		支援に満足していただけるよう、絶えず内容をブラッシュアップ、職員のレベルアップを図ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」豊田美山校			公表日		2026年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	運営に必要な最小限の人数しかいないため、全員が多くの役割を担いながら、日々の運営をしています。	指導員の増員と定着。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、全職員で清掃をし、清潔を保っております。スペースには限りがありますので、出来る限り不要な物は置かないようにしております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎週行うミーティングで業務改善について話し合う時間を設けているが、そこには全職員が参加しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からいただいた評価表を参考に、自事業所の課題を考え、改善につなげております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎週、週初にミーティングを行い、業務改善について話し合う時間を設けております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていないが、毎年内部監査を実施しております。	第三者評価は必要に応じて検討します。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内の研修が主で、その他にも児童部会での研修に参加しております。			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページにて公表しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画原案をもとに個別支援会議を開催するようにしております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画は児童発達支援管理責任者が原案を作成し、それを全職員が閲覧、意見を出し、本計画を作成しております。また、支援準備の際に支援計画を確認することを習慣づけています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内で統一されたフェイスシートとアセスメントシートを使用しております。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		基本は個別療育なので、各担当が個別に活動プログラムを立案しておりますが、小集団療育も行うため、その場合は関与する職員で話し合って活動プログラムを立案します。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援内容は構造化しておりますが、季節感のあるプログラムやイベントを行う等の工夫をしております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は漏れなく書くことができており、支援内容やねらい、その時の様子等を具体的に記載しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長6カ月、必要に応じて法定期間よりも短いスパンでモニタリングを実施しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的に児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		これまで医療と連携する機会がありませんでした。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		弊事業所に通っている児童の様子を見るために近隣保育員へ見学に行くなど、相互理解を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		学校との情報の共有は弊事業所の課題でもあり、今後学校との接点を作るよう努力いたします。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		必要があれば検討します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		必要があれば検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援のたびに約15分、フィードバックをする時間を設けており、支援内容や利用者様の状況について話し合っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレント・トレーニングが出来る職員がほとんどいない。⇒個々の知識・経験をアップさせる必要がある。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っております。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々のフィードバックの機会以外にも、必要に応じて面談機会を設けております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は開催しており、今年度は7月と12月に開催しました。2月にも開催する予定です。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の申し入れがあれば、1時間程度の時間をとり、面談を行うようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		弊社のHPの事業所ページにてお知らせをしております。	弊社のHP、事業所ページの存在が保護者様の中に浸透していない。⇒一斉配信の中でお知らせの更新を伝える等の工夫が必要。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイルや個人情報の入ったPCは鍵付きキャビネットにて保管しております。	保護者様が送迎でいらっしゃる事業所であるため、書類の出しっぱなし等にも最新の注意を払う必要がある。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		保護者からの希望や、必要があれば検討します。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定済。防災備品を非常持ち出し袋に入れております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシート、アセスメントシートにて確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食品を提供する機会はありません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は作成済。研修、訓練はそれぞれ法で定められた回数、実施しております。また、設備・備品の確認や防災訓練も行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		なるべくヒヤリハット報告書を書き、軽微なことでリスクになり得ると認識して業務にあたるようにしております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待の研修は会社全体の研修と、事業所での研修（虐待対応マニュアルの確認、セルフチェックリストの実施）を行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束についての基本的対応は事業所内で共有しており、該当の児童がいた場合、所定の手続きに沿って対応いたします。	